※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	(学)エンカレッジメント国語A	単位数	１単位	年次	集中講座(2・3年次)
使用教科書	なし						
副教材等	自主教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この講座では、主に評論教材を中心に扱い、君たちが現代社会を生きていくのに必要な語彙や言葉の運用能力を鍛え、幅広い視野から自律的にものごとを考える力、答えの出ない問題に答えの出ないまま向き合い続ける知的体力を養う、その基礎を身につけることを目標にしています。
・「分からない」「苦手」という思い込みは捨て、「自分は日本語を母語として読み、書き、考える力を既に身につけている」という事実に目を向けて下さい。そこが出発点です。

2　学習の到達目標

高校生活における、表現する力、理解する力の基礎を養う。また、言語感覚を磨き、思考力を高める。
１、筆者の主張を論理の展開にそって読み取るという、評論読解の基本を身につける。
２、読解、思考に必要な語彙を身につける。
３、読解で身につけた論理の展開の仕方を応用し、自分の力で思考し社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	語彙を豊かにし、主張と根拠などの文章の読み取り方をおさえ、文章を書く際にも使っている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、常に自分と違う他者を念頭に置き、自分の考えを的確に伝えるための論理展開を考えたり、異なる考えを予想したりしながら、自分の思いや考えを深めようとしている。	文章の内容を実社会とのつながりのなかでとらえ、自分の意見をもち、他者との関わりの中で言葉遣いや伝え方など効果的な説明をしようとしている。 また、論理的に的確な表現をしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
	論理の展開を理解する ［教材］ 「ネットが崩す公私の境」	a：文章を読む際の基本的な読み方を身に付け、文章の要点を把握している。 b[読]：[読むこと]において文章の内容や構成、論理展開など、基礎的な読解方法をおさえ、要点を把握することができる。 c：評論文の主張をおさえ、身近な生活と関連付けようとしている。	小テスト ワークシート ノート	ワークシート ノート	ワークシート ノート
	思考の枠組みを広げる ［教材］ 「コインは円形か」	a：文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 b[書]：[書くこと]において自分の意見を伝えるために、根拠の示し方や説明の仕方を考えることができる。 c：読み手を念頭に置き、効果的な説明の仕方を考えようとしている。	小テスト ワークシート ノート	ワークシート ノート	ワークシート ノート
	文化としての漢字を通じ、語彙力を豊かにする ［教材］ 自主教材	a：漢字の成り立ちや構成を通じて、体系的に漢字を身につける基礎ができている。 b[話／聞]：[話すこと、聞くこと]において、自分なりに漢字を分類整理し、人に説明することができる。 c：聞き手を念頭に置き、効果的な説明の仕方を考えようとしている。	小テスト ワーク	ワーク	ワーク
	答えの出ない社会の難題について考える ［教材］ 「自然をめぐる合意の設計」	a：読み手の側に配慮した表現や言葉遣いを理解し、使うことができる。 b[書]：[書くこと]において実生活の中から適切に情報を集め、その情報の妥当性や信頼性を吟味して、自分の意見を組み立てることができる。 c：積極的に情報を集め、自分の主張に生かそうとしている。	小テスト ワークシート ノート	ワークシート ノート	ワークシート ノート
	多文化共生について考える ［教材］ グローバリゼーションの光と影	a：文章を読む際の基本的な読み方を身に付け、文章の要点を把握している。 b[読]：[読むこと]において文章の内容や構成、論理展開など、基礎的な読解方法をおさえ、要点を把握することができる。 c：評論文の主張をおさえ、身近な生活と関連付けようとしている。	小テスト ワークシート ノート	ワークシート ノート	ワークシート ノート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　７　）時間

・書くこと　…　（　１４　）時間

・読むこと　…　（　１４　）時間